

を 問 う



影山 辰雄

大山アーケゴルフ場 地権者の権利は守る

影山 大山アーケカントリークラブの営業権が外資系の投資会社スターグループに譲渡されたことが十月八日の新聞で突然報道され、又十二月五日の町議会全員協議会で経過報告された。

その内容は、民事再生手続きに基づく再生計画が主なものであった。

地権者と町との土地賃貸借契約書に基づく期間二十一年間の賃料はゴルフ場の経営状況にかかわらず、伯耆町が地主に支払われると理解するかどうか。

町長 当ゴルフ場は、旧溝口町が誘致して、平成三年にオープンし現在に至っている。その後の状況は経過報告のとおりです。ゴルフ場用地については、伯耆町が賃貸借して、同社に転貸している

もので当事者としての責務があり、再生計画が承認されることを望むところだが、承認を得られな

い場合でも契約書に基づき残期間は伯耆町が責任を持って地主に賃料を支払いさせていただく。



大山アーケカントリークラブ クラブハウス

当初予算編成の基本方針

影山 住田町政になって二年目の予算編成で、公債費の償還が平成十八年・十九年と最高に達するなかで、住民のニーズは高く、大変な予算編成作業になると思われる。

そこで平成十八年度予算は、あれもこれもではなく、これとこれだけはこの最重要課題を取捨選択の上で編成し、不要な事業、目的を終了した補助金は期限を定めて廃止するなど、簡素で効率的な行財政システムの構築を目指して臨むべきだと思

町長 当初予算は合併二年目の予算となり、合併協議で取りまとめられた新町まちづくりの理念にもとづき、住民の方々が安心して暮らせるための、

更なる町政の進展に資するものでなければならぬものと考えている。具体的には、各課の創意工夫により、経常経費の五％を削減目標とし、今まで以上の財政の健全化を図るため、県平均を上まわっている経常収支比率を、県平均なみの九〇・〇％まで引下げることを目標とし、経常経費の総額で約二億円の歳出削減を目指して編成する。